

日時：2009年12月9日 18：30～20：30

場所：ハートピア京都第4会議室（4階）

- 議題： 1. 第2回定例会議の振り返り（アンケートから意見抽出と対応案（勉強会共）／意見交換）
2. 各議題チームの進捗報告など
3. 議題チームへのフォロー／サポートについて
4. 第3回定例会議のプログラム案（+勉強会）について
5. 公開フォーラム（中期プログラム）に向けての意見交換
6. その他

1. 第2回定例会議(11月28日)の振り返り

●アンケートから意見抽出と対応案（勉強会共）

▽前向きなご意見・ご感想

- ・新委員、京都市、他多くの意見を聞くことが出来た。今後の展開に大いに期待したい。
- ・2期目に際して、チームの真に目指すところが見えてきた。

▽グループでの議論の進め方に関するご意見

- ・具体的な役割がなかなか決まらない。グループの中で偏りができてしまう。
- ・発信者に偏りがある。チームメンバーが多くて話しづらい。

【事務局からの対応案】議論がなかなか進まない時、発言者が偏る時などに対応できるワークショップ手法があります。事務局にご相談ください。また、こうした意見を持たれている方がいるということリーダー・幹事会議で全チームに共有します。

▽チーム発表の方法についてのご意見

- ・他のグループの動きが、オープンマイクだけではわかりにくい。
- ・報告の時間が少なく、それぞれの内容がわかりにくい。
- ・もっと他のグループのことをしっかり学ぶことによって自分のグループの進め方などもよくなると思う。

【事務局からの対応案】オープンマイクを掲示スペースや事務局通信で情報伝達に繋げて行きます。また、ホームページを充実させ、他のグループの動きが見えるようにしていきます。また定例フォーラムの開催など、全員でグループの議題に関われる機会を作っていきます。

▽委員からの新しいご提案

- ・チームの報告だけでなく、それに対する意見を募る時間も是非確保していくべき。
- ・委員それぞれのプロフェッショナルをもっと活かしていく方法を考えるべき。

【事務局からの対応案】カフェスペースに掲示板を設置します。そこで他のチームへの提案や意見を伝えられたり、他のチームに意見を求めたりできるようにしていきます。

▽勉強会について

- ・お昼ごはん持参の告知をしていただいで、ランチタイムに長引いてもいいようにしてほしい。
- ・面白かったが、時間が短かった

【事務局からの対応案】定例会議を定刻に始めるため勉強会の時間は1時間でやっていきたいと考えています。その中で有意義なものにできるよう、研究していきます。

●意見交換

2. 各議題チームの進捗報告など

●第2期議題チーム一覧表（別表参照）

▽城と堀川／若村リーダーより連携の依頼（>おもてなし力など）

3. 議題チームへのフォロー／サポートについて

●京都市担当課との意見交換の場の設置

▽ 12月19日の定例会議では、「歩きやすい道」チームと京都市都市計画局 歩くまち京都推進室の意見交換が行われる予定です。また、「人をつなぐ福祉のコミュニティづくり」チームを中心に、深草支所まちづくり推進課との深草エリアの調査を目的としたまち歩きが行われます。

▽ 他のチームについても要望がありましたら京都市担当課と調整いたしますので、事務局までご相談ください。

●株式会社富士通と100人委員会との連携について

▽ WEBを通じたイノベーションプラットフォームを京都で構築予定

▽ 100人委員会でも活用してほしい。逆にシステムに関しての希望・要望が欲しい。

⇒定期的な連絡会議の設置、必要なチームごとにシステムを検討していく。

●チームの情報発信／共有の強化

チームの活動や現状の報告、チームが企画する計画の発表やイベントなどの勧誘や告知などを行う機会を多く作っていきます。

定例会議内／

▽ 前回定例会議で実施した、全体会議での1チーム2分の**チーム発表**を、次回会議でも実施します。

▽ 会場内に掲示スペースを設置し、チームからの情報発信の場として活用できるようにします。各チームからの告知を掲示するほか、他チームへのメッセージ、他の委員からのアドバイスなども掲示できるよう工夫し、各チームの状況が一目でわかるスペースを目指します。

定例会議外／

▽**カレンダー**（スケジュール）の設置

100人委員会HP内【100人委員会のスケジュール】に、各チームの活動予定などを掲載します。

▽ 事務局通信に**<チーム活動NEWS>**

月2回配信している事務局通信に、<チーム活動NEWS>として勧誘やイベント告知などを盛り込み、配信します。告知情報は【リーダーML】へ投稿、また担当事務局へ頂ければ、事務局通信へ転載します。

⇒チーム活動NEWS（締切）

12月11日締切 > 事務局通信12月15日号（予定）に掲載

1月7日締切 > 事務局通信1月9日号（予定）に掲載

★ 随時、リーダーMLで締切をご連絡します。

4. 第3回定例会議のプログラム案（+勉強会）

●勉強会（11時～12時／自由参加）

担当： 嘉村賢州

テーマ： 『仮／チーム会議の進行法～ファシリテーション手法～』

目的： チームメンバーの個性を生かした会議運営ができるように、ファシリテーションのヒントをワークショップ形式でお伝えする。

内容案： (1)チェックイン（各自の思いを知る）

(2)ブレインストーミング・KJ法（各自のアイデアやリソースを引き出す）

(3)ファシリテーション・グラフィック（議論を視覚化、進行を俯瞰する）

(4)Q&A・ツールをダイジェストで紹介

(5)チェックアウト

●プログラム案（第2回定例会議とほぼ同様で計画しています）

▽ 開会～全体会議（13:00～13:30）

第2回定例会議の振り返り（アンケートから検討事項の抽出と対応）

リーダー・幹事会議の報告 >> オープンマイク

- ▽議題チーム会議 (13:30~16:15 2時間45分)
工程表を基に、これからの行動や活動への議論を深める。
- ▽全体会議～閉会 (16:15~17:00)
各チームの発表 (1チーム2分) →→→掲示スペースとの連動
オープンマイク >> 閉会

5. 定例公開フォーラム (中期プログラム) に向けての意見交換

●定例公開フォーラム案

▽<定例公開フォーラム>は100人委員会全体で市民に広くPRし、「毎月第4土曜日の決まった時間には常にまちづくりが語られている」という状態を目指す。

▽定例フォーラムの意義

- 自分たちがやろうとしていることをさらに多様な視点から磨き上げる
- 自分たちがやろうとしていることを実現化する上での仲間を集める
- 自分達がやろうとしていることを広く一般に発信する

▽単独チーム開催と複合チーム開催<例>

- 単独でのチーム開催
- 複数チームでの共同開催 (関連テーマで刺激し合うのは面白い)
→融合や協働のきっかけ

単独チーム開催	複合チーム開催
(1) 専門家による基調講演 (30分)	(1) 専門家による基調講演 (20分)
(2) チームのプレゼン (30分)	(2) パネルディスカッション (30分)
(3) 参加者全体でのワールドカフェ (45分)	(3) 分科会 (45分)
(4) 内容の共有・振り返り (15分)	(4) 内容の共有・振り返り (15分)

▽開催計画案

開催月	(任意参加)	第1部	第二部/13時	第三部	第四部	フリータイム
1・2月	横串勉強会	全体会議	チーム会議		全体会議	
3月 (AB案)	横串勉強会	全体会議	A案: チーム会議	定例公開フォーラム	全体会議	中間懇親会
			B案: 全チームで定例公開フォーラム			
4~8月 (5回)	横串勉強会	全体会議	チーム会議	定例公開フォーラム	全体会議	
9月		全体会議	最終発表会		全体会議	懇親会

●検討課題

- ▽1月のリーダー・幹事会議で方針検討頂きたい事項
 - ・3月開催方針と開催チーム (単独or複合or全チーム) を決定。
※第1回目であるということと、昨年度はこの時期に中間発表会を開催した経緯から全チームでの実施の可能性も検討したいと考えます。
 - ・4月以降の開催チームの方針付け
- ▽定例フォーラムの市民への広報について
 - ・市民新聞: 3月1日発行市民新聞への原稿締切は1月中旬~下旬。内容確定が必要。

6. その他

- ▽ 次回 (第2回) リーダー・幹事会議 日程調整

■第2回定例会議091128 アンケート〈一次〉集計

1：本日はいかがでしたか？

山紫水明のコラボレーションが現実味を帯びてきた
目的意識などの共通認識をとれた
2期のスケジュールが大まかに決まりました
2期目に際して、チームの真に目指すところが少し見えてきましたような気がします。
他チームとの連携イベントが具体化できた
具体的な方向性が決まってきた
チームに入ってしっかりと議論できたため
きわみが盛り上がりました
若100の進捗が心配だったが、ロードマップが見えたので安心した。
これらのスケジュールが明確になった
具現化に向かってがんばりたい
具体的な話ができたので
議題について各自の意見を出し合い、企画が展開していることを実感したため
「行い」に向けて進んでいると感じた。自分が、具体的にできること。まだわかりませんがきっと見つかると思います
新たなテーマ出しに挑戦するようなホットな論議ができた
昨年一年色々話し合ってきた下積みがあり、今年は具体的な行動が、できるようになりました。
新しい委員や新しいが本質的な話題提供がありました、具体的な活動スケジュールができた新たなよいつながりができた
チームメンバーが増えたので、グループを分けることができた。行動計画を考えるのにとってもよかった
今後の指針が立てることができた
事務局担当のきめ細かい配慮と新規メンバーの意欲が先の楽しみ
チーム内でじっくり話ができただけで満足できた。チーム報告があるのはいい。委員会全体の進行度やチームの目標が理解しやすい
皆でまとまってやっていこうと決めたこと
午前中の勉強会を含め中身のある議論ができた
新しいメンバーが多数入られて、活発な意見が出ました
昨年度にあがった基礎計画を具体的に出来た
実現化に向けて、具体的なスケジュールを決められた。
少しずつではあるが、前に進んでいる事を感じた
具体的な計画が決められた
前年度の反省から新しく「京都を豊かにする」チームが出発した
途中で抜けなければならなかった次は最後まで参加するようにします
漠然としてまとめにくい
スケジュールが大まかに決まった。具体的な役割になるとなかなか決まらなくて、グループの中で偏りができてしまう
発信者に偏りがある。チームメンバーが多くて話しづらい
新規の方、京都市、他多くの意見を聞くことが出来ました。今後の展開に大いに期待したい。
行政から来ていただいた方が前向きだった
市の観光課の北村課長に参加していただいて、アンケートの中間調査結果と行政としてのまとめ方の説明を受け、かなり深いディスカッションが出来た。
内容が良い
初めての参加でしたが、皆様の景観に対する重いがビシビシと伝わってきました。
初参加だったので、とりあえず様子がわかった
初めてなので
色々な方の発言をじっくり聞けた、具体的な事例をたくさん知れた
久しぶりに京都のまちづくり、景観まちづくりの議論の場に参加させていただきました。京都にはなんとも言えない魅力があります。次回を楽しみにしています。
様々なグループが見れた

初めてお邪魔させていただいたので、どう参加していいのかと、迷っていました。すみません。次回も参加できればと思いました。

聞きたかったが、チームが予想以上に議題もしっかりしていたので、話に入りやすかった。また次回までに勉強しようと思いました

同じ思いの元にさまざまな人々が集い考えを出し合いながら参加者それぞれがリフレッシュしていく創造の場を実感することができた

2：今日、いいな、良かったな、と思ったことをお聞かせください！

具体的な話が多く出た

意見が活発でした

メンバーが増えたこと。特に女性のメンバーが2名加わっていただき、活気が出てきた。

真剣に議論ができた

メンバーの意見が聞けた

色々な人（立場とか）の思いや意見を聞くことができ心が広がった

本音で話げできた

顔合わせができたこと

熱い思いを持った人の存在を知れた事

反省も含めて発想を変えることによって可能性が多く生まれると思った

どのチームも具体的な行動目標が出てきてよかったと思います。

発表できた

にこわくさんとのコラボのおかげで、具体的に進みそうだと思った。事務局の支援がありがたかった

具体的に物事が進められると思いました

ネットワークが広がる

いろんな方の意見が聞けました

年齢に関係なく集まり、自由な議論が出来たこと

新しい方も三名増えて、良意見交換

今日十分に話し合いの時間を持ててよかった

チーム同士また事務局の冊子でも、「チーム同士の協働」が多く呼びかけられていたこと。

100人委員会全体が1つのチームとして働ける予感がした。

春・夏の企画について具体的な話げできたので

2つ柱ができたこと

本年度の方向性が決まった。京都市の担当者が参加した。共汗だ。

市役所のほうの意見が聞けた。

市の方が来てくださって、貴重な意見交換ができて有意義だった。

市の方も積極的に参加して下さるのはとても嬉しい事と思いました。

景観に関する様々な取り組みのアイデアが聞けたこと

今後の計画がある程度見えてきたこと

チームが非常に充実してきた

実際の活動を見学できた

チームとして意義のある取り組みだと思った

新規委員とも少しなじめた

新メンバーでスタートに当り、お互いの意思確認ができた。

新しいメンバーとの交流ができた

新しい方のフレッシュな意見が目を引いた

自分のやりたかったことがまさにテーマになっていました。

飛び込みの私にも皆さんオープンに接して下さったこと

新人の方にも、やさしく受け入れる風土がある（きわみ）

一人で延々と喋る人がいて困ったが、サブチームを作り、議題を絞って十分に討議ができた。スタッフのサポート（企画実現のための）ノウハウ、他の企画との連携に対するアドバイスが大変有効である。

チーム報告・・・チームの方向性や進行度合いがよくわかった

幼児も参加していること

3：今日、問題だな、こうしたらいいのに、と思ったことをお聞かせ下さい！

財源

事前の準備が足りないように思った

第三セクターの運営に関心があった

京都市の担当部署の方が決まったということでしたが、参加はされないのでしょうか？

行政のサポートを受け入れる心が必要

グループによっては、司会者的な人がいなく、一人がモノローグのように進行している。

月1ではやはり進めるのが、難しい

やはり飛び込みのものには内容が見えづらかったこと

HPの実施

レポートの取りまとめも必要だが、具体的に我々に市長がどう実現に行くかがというステップになってきました。

他のグループの話が見えにくい。オープンマイクだけではわかりにくい

報告の時間が少なくて、ちょっとそれぞれのグループの内容がわかりにくかった。他のグループのことをしっかり学ぶことによって自分のグループの進め方などもよくなると思います

事前調査手法。アプローチ

手順、手続き、日程についての議論が多すぎませんか？

スケジュール作成、マイルストーン説定、チームのコンセプトの再確認、決定事項の確認

事務局の途中のアナウンスの音量をもう少し小さめにしてほしい

メンバーが全員集まるのが難しい。時間が長い。目指すものの確認と現実的なところで進めていかないと、1年間やっていく意義が少なくなると思いました。

一人で延々と喋る人がいて困った。今後、信頼関係を築き、進め方のスキルを向上させると、もっと円滑な討議ができるのかなと思う

チーム会議について、チームによって時間配分に問題があったようであった。（長すぎる）

4：委員みんなで共有したいこと、みんなに提案したいことなど、ご自由にお書きください！

京都人の誇り

それぞれのチームで企画されている事業の方針的裏づけをどうしたらよいか？

市政にどう生かせるか考えていくことが必要だと思います。

イベント決定したので、その内容について

京都の危機から再生へ

今後のスケジュール

共通の考え、理念が必要

市民全体にこうした動きをもっとアピールしていければよいと考える

委員それぞれのプロフェッショナル（今一番生かされてない気がします）

ブログ、WIKI等ホームページ以外の情報共有場所

定例会に担当部署来てもらって同じ速さで市⇔100人委員会が進んでゆく事例

社会のテーマが他の社会と共同できることが多いので今後模索していきたい

まず、100人委員会のメンバーが、色んなチームのイベントに積極的に参加して、市民の輪のつながりを作っていきたい

歩きやすい道のwebサイトができたら、100人委員会のホームページリンクに貼ってほしい。（1月末予定）

ホームページ上でのイベント告知

第1期の具現化へ。当課題チームの具体的な行動による収集へスタート

100人の意味として、ブラッシュアップと、よりよい方々へメッセージを伝えることの大切を意識し続けるためのチームの報告だけでなく、それに対する意見を募る時間も是非確保していただければと思います

山紫水明チームと協働して委員対象の体験イベントをしています。12日の会議にて継続して検討する

他のチームと連携していきたい

賛成反対論も共有していきたい

5：勉強会／参加しての感想

嵐山のトイレ作りについて知りました。最近、京都市内の公衆トイレや駐輪場がキレイになっているので、良いことだと思っています。市民&観光客ともに住みやすい京都になってきていると感じます。

京都市職員さんの熱い思いをお聞きできて、良かった

このような情報が聞けてよかった。しかし、なぜ、この情報をもっと多くの市民に公開、公表しないのか。知りたい市民もたくさんいると思います。

12,3年前の話でも、一般には知られていない京都市の市民参加について当事者から聞けた有意義だった。申し訳ありません。参加できませんでした。

京都市が市民とともにまちづくりを進められた足跡がよくわかった。

職員の方々の熱い気持ちが伝わり、参考になりました。

実際の活動のはじめから終わりまで、聞けたので、今後の活動の参考に大いになった

参考になる活動であった。もっと市民の意見を聞く方がよい

面白かったが、時間が短かった

本日の勉強会を聞かせていただいて大いに参考になりました。今後も開催してください

一般市民、住民が通常、市の職員とかがわかることは何らかの具体的な問題がある場合に限定されコミュニケーションが難しいものになりやすいと思います。しかも、発信者は市民住民の側で、市職員は受信応答側。本日のような場では市の職員の方が可能な限り個人としてお話になり、人間味を感じることができると思いました。こうしたことは市の職員と市民住民という区別に限らず、人と人の縁のある方すべてに共通するかと存じます。また、本日紹介いただいた、嵐山の例では、地元の料亭が集いの場になっておりました。ケースバイケースではありますが、可能な提言はこのように地元はどこかで集いが行われていることも大切かと思えます。（地元の人同士の縁を豊かにするという意味でも）嵐山さくらトイレ作りに参加した地元の方は本日いらっしゃっておられましたでしょうか。もし、おられるようでしたら、トイレができた後の様子について地元の人としてお話いただければと思います。

相談役との意見交換、成功/失敗事例のプレゼンを今後も開催していただきたい。お昼ごはん持参の告知をしていただいて、ランチタイムに長引いてもいいようにお願いします。

勉強会／こんな勉強会を提案したい

京都人の特性

他の自治体の首長などを呼んだもの。彼らの行政方針なども聞いてみたい

みやこ土曜日塾の事業について学びたい

京都市政と審議会を解剖する（講師：新妻さん）推薦

実現できた企画の紹介

京都市として国に発表した100人委員会についての内容

京都市民として京都をよくしていきたい

■ <第2期>議題チーム一覧表

リーダーML登録者(+幹事) 【幹事】(敬称略・順不同)

担当事務局	チーム名	リーダー	サブリーダー	継続委員の登録	人数
絹川	京都にこわく	佐藤	竹内 廣江	【青木純平】竹内香織、佐藤友一、篠原幸子、爾英晃、石盛真徳、山形悦久、佐々木真、廣江吉信、勝見九重、岡本敏子、野口寛樹、石原早苗	13
絹川	人をつなぐ福祉のコミュニティづくり	長澤	西	長澤哲也、中前紀子、西博三、丹羽國子、大西佳子、山地敏明、巻出恵美子、小辻寿規	8
飯田	岡崎ホールディングス	丹羽	美濃部	【丹羽妙】【美濃部竜治】【乾明紀】土岐利加、井上翔一、栗山文孝、山田寛仁、土肥真司、藤井容子	9
飯田	さわみー京都・若者・未来の構想	新妻		【船戸潤子】【新妻人平】【秋元宏美】廣岡睦、福永健、堀田芳子、筒井洋一、田中翔、桑原真明、鈴木陽子、岡本和徳、永井亮希	12
小林	歩きやすい道	田村	岡本	田村剛、リチャード・シルバー、中村善治、森村八重子、岡本紳吾、土岐智賀子、終木 きよみ	7
小林	市民の景観	内藤	松本 中村	【宗田好史】内藤郁子、大西健吾、高野忠男、森本浩行、河辺清美、高木英二、松本よし子、石倉宏、中村伸之、奥田美沙子、藤崎壮滋、富家大器	13
立花	城と堀川	若村	駒井	若村亮、全永奈、蜂谷尚、芳村誠二、荒木本恵、駒井義弘、矢野睦子、野村正樹、松江仁、小泉光太郎、岡田辰雄、森明子、狭川尚己	13
立花	京都を豊かにする ～危機からの再生へ！！ ～豊かさを生み出す～	吉川	木村	吉川哲雄、木村寿夫、坂田文保、萩原三義	4
西尾	市民のおもてなし力の向上	吉見	太田	【上田雅弘】【平井誠一】吉見誠一郎、藤林茂二、太田航平、千田愛優美、彌永祥子、杉本晴佳	8
西尾	外国の方うれしい街へ	大西	亀田 橋本	亀田峻宣、橋本皓平、松石敏治、吉川克哉、大西武	5
山口	のりもの	川本	富吉 岡野 尾形	尾形浩一朗、池口誠一、須藤篤志、岡野真之、川本力、二塚敬子、吉川忠男、富吉満之、堀川浩、酒井弘、熊田健太郎	11
谷口	まちづくりは人づくりから	白井	村木 長屋	白井敬子、村木博隆、尾崎愛子、長屋博久、梶宏、吉崎純子	6
片桐	山紫水明の京都	中園		【上原智子】【中園涼子】高嶋加代子、上萩寛、堀正勝、朝倉眞一、齋藤義憲、吉村雅美、向井愛	9
● 本表は、第2回定例会議で提出されたチームメンバーリストの集計です。 2009.12.9現在					118